






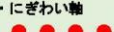











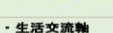




新	旧
<p>第4章 土地利用構想</p> <p>1 土地利用の基本方針</p> <p>土地は、住民生活や経済活動の基盤となるものであり、地域の個性や魅力を生み出す源泉にもなる、将来へ引き継ぐべき限られた貴重な資源です。</p> <p>本町が、まちの将来像を実現するためには、地域の特性を活かした計画的な土地利用を進めていく必要があります。本計画では、町全体で適正な土地利用を進めていくための基本的な方針を次のとおり掲げます。</p> <p>基本方針1 住環境の維持・改善</p> <p>住民が安心して快適に生活できるよう、市街地の安全・安心の向上を図り、コンパクトで暮らしやすく、魅力ある住環境の維持・改善に努めます。</p> <p>基本方針2 地域の強みを活かした土地利用の推進</p> <p>本町には、県営名古屋空港周辺に航空機産業と産業観光施設が、南西部には名古屋市中央卸売市場北部市場が立地しています。また、名古屋市に隣接し、高速道路や国道、主要地方道に囲まれ、広域交通体系に恵まれています。</p> <p>こうした地域の強みを活かし、周辺環境に配慮しつつ、地域の活力を生み出す土地利用を進めます。</p> <p>基本方針3 都市と自然の調和・共存</p> <p>神明公園や大山川を利用して、自然と共生した土地利用を進めるとともに、市街地の自然の保全・創出に努めます。また、農地の持つ保水機能や、美しい自然環境を創出する多面的な価値を評価し、都市と自然が調和・共存した土地利用を進めます。</p> 	<p>第4章 土地利用構想</p> <p>1 土地利用の基本方針</p> <p>土地は、住民生活や経済活動の基盤となるものであり、地域の個性や魅力を生み出す源泉にもなる、将来へ引き継ぐべき限られた貴重な資源です。</p> <p>本町が、まちの将来像を実現するためには、地域の特性を活かした計画的な土地利用を進めていく必要があります。本計画では、町全体で適正な土地利用を進めていくための基本的な方針を次のとおり掲げます。</p> <p>基本方針1 住環境の維持・改善</p> <p>住民が安心して快適に生活できるよう、市街地の安全・安心の向上を図り、コンパクトで暮らしやすく、魅力ある住環境の維持・改善に努めます。</p> <p>基本方針2 地域の強みを活かした土地利用の推進</p> <p>本町には、県営名古屋空港周辺に航空機産業と産業観光施設が、南西部には名古屋市中央卸売市場北部市場が立地しています。また、名古屋市に隣接し、高速道路や国道、主要地方道に囲まれ、広域交通体系に恵まれています。</p> <p>こうした地域の強みを活かし、周辺環境に配慮しつつ、地域の活力を生み出す土地利用を推進します。</p> <p>基本方針3 都市と自然の調和・共存</p> <p>神明公園や大山川を利用して、自然と共生した土地利用を進めるとともに、市街地の自然の保全・創出に努めます。また、農地の持つ保水機能や、美しい自然環境を創出する多面的な価値を評価し、都市と自然が調和・共存した土地利用を進めます。</p> 

第5次総合計画 基本構想（拠点・軸の方針）新旧対照表

新	旧
<p>2 拠点・軸の方針</p> <p>○広域交流拠点  名古屋空港旧国際線旅客ターミナル地区の集客施設を中心に、町内外から多くの人々が集い、交流する拠点として位置付けます。</p> <p>○先端産業振興拠点  空港ターミナル地区と周辺の工業地区を中心に、航空宇宙産業と空港関連機能が集積した先端産業の拠点として位置付けます。</p> <p>○食の流通拠点  北部市場周辺の食品関連産業による、雇用、にぎわいの拠点として位置付けます。</p> <p>○産業機能拠点  幹線道路のアクセス利便性を活かし、産業機能集積の拠点として位置付けます。</p> <p>○地域商業拠点  地域の主要な幹線道路の結節点に位置する既存の商業施設を中心に、住民の日常生活を支える商業機能を備えた拠点として位置付けます。</p> <p>○コミュニティ拠点  役場・社会教育センター周辺地区において、様々な住民活動の場として、また、路線バスの結節点として、住民・在勤者が集い、交流するコミュニティの拠点として位置付けます。</p> <p>○憩いと交流の拠点  新たな防災機能を備えた公園及び交流に必要な機能・施設により、住民・来訪者の憩いと交流の拠点として位置付けます。</p> <p>○広域防災拠点  航空自衛隊、民間航空等の輸送機能を有する空港と防災機能を備えた公園等が一体となり、大規模災害時に全国からの人員や物資等の支援を受け入れ、県内の被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する広域防災拠点として位置付けます。</p> <p>○広域交通軸・地域交通軸 広域圏や近隣市町との人、物、情報の活発な交流を支える広域ネットワークとして、国道41号と名濃道路を広域交通軸と位置付けます。名古屋空港へのアクセスとなるとともに、町内の主要な骨格道路であり、バスや自転車、歩行者の主軸となり、各地域や拠点を結ぶネットワークとして各県道を地域交通軸と位置付けます。</p> <p>・にぎわい軸  広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。</p> <p>・商業・オフィス軸  沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。</p> <p>・生活交流軸  徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。</p> <p>○水と緑の軸  神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。</p>	<p>2 拠点・軸の方針</p> <p>○広域交流拠点  名古屋空港旧国際線旅客ターミナル地区の集客施設を中心に、町内外から多くの人々が集い、交流する拠点として位置付けます。</p> <p>○先端産業振興拠点  空港ターミナル地区と周辺の工業地区を中心に、航空宇宙産業と空港関連機能が集積した先端産業の拠点として位置付けます。</p> <p>○食の流通拠点  北部市場周辺の食品関連産業による、雇用、にぎわいの拠点として位置付けます。</p> <p>○産業機能拠点  幹線道路のアクセス利便性を活かし、産業機能集積の拠点として位置付けます。</p> <p>○地域商業拠点  地域の主要な幹線道路の結節点に位置する既存の商業施設を中心に、住民の日常生活を支える商業機能を備えた拠点として位置付けます。</p> <p>○コミュニティ拠点  役場・社会教育センター周辺地区において、様々な住民活動の場として、また、路線バスの結節点として、住民・在勤者が集い、交流するコミュニティの拠点として位置付けます。</p> <p>○憩いと緑の拠点  神明公園や航空箱 b o o n を中心に、緑に囲まれた憩いの拠点として位置付けます。</p> <p>○広域防災拠点  空港施設や航空自衛隊等の輸送機能が一体となって、災害時の救援、物資輸送等の機能を備えた広域防災拠点として位置付けます。</p> <p>○広域交通軸・地域交通軸 広域圏や近隣市町との人、物、情報の活発な交流を支える広域ネットワークとして、国道41号と名濃道路を広域交通軸と位置付けます。名古屋空港へのアクセスとなるとともに、町内の主要な骨格道路であり、バスや自転車、歩行者の主軸となり、各地域や拠点を結ぶネットワークとして各県道を地域交通軸と位置付けます。</p> <p>・にぎわい軸  広域交流拠点や地域商業拠点、食の流通拠点を結び、主要な路線バスが通行するにぎわいの軸と位置付けます。</p> <p>・商業・オフィス軸  沿道立地型の商業・オフィス機能の立地誘導を図る商業・オフィス軸と位置付けます。特に、先端産業振興拠点周辺においては、先端産業を中心としたオフィス軸と位置付けます。</p> <p>・生活交流軸  徒歩や自転車で安全に移動ができ、コミュニティ拠点等を中心に、住民の生活利便性や交流を支える様々な都市機能が集積した生活交流軸と位置付けます。</p> <p>○水と緑の軸  神明公園を拠点として、大山川の水辺空間を活かし、徒歩や自転車で安全に通行ができ、住民の憩いの場となる水と緑の軸と位置付けます。</p>